

第4次府中市生涯学習推進計画の方向性 (基本目標・基本施策)

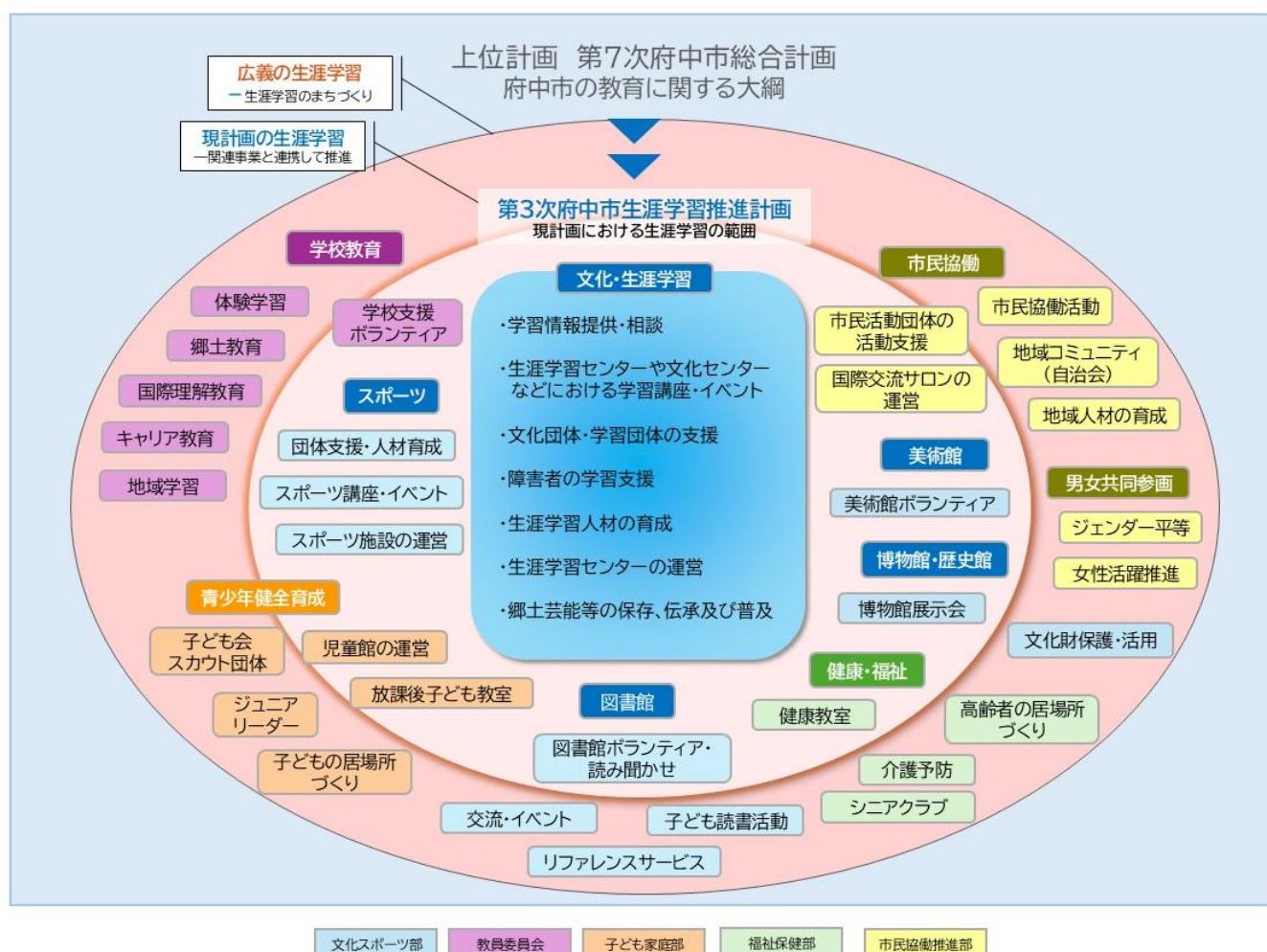
我が国の生涯学習について

我が国の生涯学習は、当初、社会教育や成人教育を中心に学習機会の提供や施設整備を通じて推進されてきましたが、様々な検討を重ねて「生涯いつでも自由に学びを選択し、多様な場で行われるあらゆる学習」として捉えられるようになりました。

近年では、人生100年時代や社会の多様化、デジタル化の進展などを背景に、学び直しを含めて誰もが主体的に学び続けられる環境づくりが重視されるとともに、生涯学習は、よりよく生きること（ウェルビーイング）や社会的包摂の実現、地域の持続性を支える基盤としての意義が一層高まっています。

府中市における生涯学習事業の範囲

府中市では、全庁体制での生涯学習を基本としつつ、本計画が主として取り扱う生涯学習事業の範囲をおおむね、次のように捉え、計画を策定するものとします。



府中市の生涯学習の捉え方

前提 の考 え方

本市の第7次府中市総合計画では、「多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち」を生涯学習分野の基本目標に設定しています。時代の変化に対応しながら、様々な背景を持つ市民がともに生きる共生社会を目指して、生涯学習の分野において多様性(Diversity)、公平性(Equity)、包摂(Inclusion)の3つの要素を重視し、共に学びあえる環境をつくっていくことが求められているところです。

ニ ーズの 拡大

また、第12期中教審生涯学習分科会の議論にもあるように、人生100年時代の社会は、生涯を通して一人ひとりの学ぶ時期や進路が複線化し、学校教育が終わっても、人生を生涯にわたって学び続ける時代とされています。

こうした社会の構造的な変化を受けて、生涯学習へのニーズはリスキリングなどキャリアアップにつながる学び、人生を幸せに過ごすための学び、人と人がつながるきっかけとなる学び、地域の活動を通して信頼を深め共に育む学びなど、多岐に渡る学びの機会が求められているところです。

都市 の 縮退

その一方で、わが国の人口は2006年をピークに減少に転じており、これまで大きな人口減少の影響を受けてこなかった府中市においても、将来確実にやってくる人口減少社会を見据え、都市の縮退に対応し、公共施設の再編や市民サービスの適正化・効率化など、公共領域の拡大抑止を前提とした学びの環境を再構築していくことが求められています。

推 進 方 向

生涯学習ニーズと公共領域の拡大抑制の二局面の課題を解決していくためには、府中市がこれまで作り上げてきた生涯学習資源(機会・人材・ネットワーク・場)を、市民及び地域コミュニティ(地元企業を含む。)が主体的な役割を担うという明確な意思をもって、守り育てていくことが不可欠です。

- すべての取組の根底に多様性、公平性、社会的包摂があること。
- これまで作り上げてきた生涯学習資源を持続的に守り育てること。
- 市民及び地域コミュニティが主体的役割を担う学びヘシフトすること。

検討—基本目標（たたき台案）



本計画では、これまで府中市が市民と共に培ってきた生涯学習の取組の成果を大切にするとともに、前項に掲げる「生涯学習の捉え方」を踏まえ、時代に即した新しい基本目標を掲げます。

また、この基本目標を実現するために、基本施策を位置付けるものとします。

事前配布資料・事前ワークで検討

基本目標（案）

○○○○○ ○○○○○○ ○○○○

基本目標説明文が入ります

検討—基本施策（たたき台案）

本市の生涯学習の課題を踏まえ、本計画の基本施策は大きく2つの柱とします。

1つは、学びを通じた多様な主体の連携、学びをいかし、広げる学びのネットワークづくりなど「**学びを伝え広げるつながりづくり**」です。

もう1つは、市民が学びたいと思うきっかけづくりや、学びたい人が参加できる学習機会の提供、学びの拠点づくりや情報発信などの基盤整備を含めた「**だれもが学び合える環境づくり**」です。

今回、資料4において本計画の課題整理や基本目標の検討を進める中で、学びや活動を通じた「つながり」や「コミュニティ形成」、「ネットワーク」の重要性が改めて認識されたことから、本計画の大きな柱として「つながりづくり」を位置付けています。

また、これまで本市が取り組んできた学びの環境づくりを継承しつつ、更なる充実を図り、一人ひとりの学びや相互の学び合いを支えるため、「学び合える環境づくり」をもう一つの柱として整理しています。

基本施策1	学びを伝え広げるつながりづくり ～学びを通じた持続可能なネットワーク～	重点課題1 重点課題2 重点課題3
基本施策2	だれもが学び合える環境づくり ～一人ひとりの学びを支え、学び合いが広がる基盤づくり～	重点課題4 重点課題5

基本施策1 学びを伝え広げるつながりづくり

府中市における多様な主体の連携を強化し、府中市学びのネットワークを広げていくとともに、学びを支え合い、一人ひとりが学んだ成果を適切にいかす仕組みづくりの充実を図ります。

また、学びをつなぐ担い手の発掘・育成や活動支援を通じて、人と人が結びつく持続的な学びのネットワークづくりを推進します。

基本施策2 だれもが学び合える環境づくり

学びに参加しやすいきっかけづくりを進めるとともに、多様な生き方・世代・背景・状況に応じて学びに参加できる多様な機会を提供します。

また時代に応じた学習環境の適正な整備や、生涯学習センターを中心とする包括的な学びの拠点づくりと連携強化を進め、誰もが学びやすい環境づくりを進めます。

あわせて、学びに関する情報が広く届き、活用される仕組みを充実させるとともに、学びの相談体制を整備することで、主体的な学び合いを促進します。

検討—施策の体系 (たたき台案)

次に示す施策の体系はたたき台案です。この案を基に体系を検討します。

